

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
物的流通論		社会を支える物流の仕組みを考える		中村 知誠	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	総合物流施策大綱、サプライチェーン・マネジメント、物流標準化、ラストマイル輸送、グリーン物流			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		「交通概論」「鉄道基礎」「鉄道工学」「鉄道数学」「交通英語入門」				
講義の目的	物的流通(物流)は生産システムと消費システムの過程で流動するモノ(商品等)を管理する活動であり、私たちの生活にも深く関わっています。本講義では、物流の基本的概念を総合的・体系的に学習し、物流の現状を理解することを目的とします。また、近年の社会課題と物流の関わりについても学習します。物的流通論は、経済学や経営学、商学などの知識があるとより理解が深まります。					
到達目標	本講義では、①物流にかかわる基礎的な知識を習得すること、②習得した知識をもとに企業における実際の物流や物流システムについて説明できるようにすること、③物流の視点から環境問題や災害、労働力不足といったより大きい課題を分析・考察できるようにすることを目標とします。					
講義内容	本講義では、経済学や経営学、マーケティングの基礎的な理論をもとに物流の役割と重要性について体系的に学習します。前半では、物流概念の変遷、物流の基本的な機能、物流管理、企業の業種に応じた物流などを扱います。後半では、環境や災害、労働力不足という問題を物流の観点から学びます。第13講と第14講の事例研究では、授業中に学習した様々な概念を用いて実際の企業の経営戦略と物流システム・物流戦略の関わりを説明します。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	物的流通とはなにか	物的流通やロジスティクスの基礎概念の整理			
	第2講	物流の機能	物流の6大機能と物流の主体			
	第3講	経済社会を支える物流業①	輸送手段としてのトラック輸送・海上輸送の役割			
	第4講	経済社会を支える物流業②	輸送手段としての鉄道輸送・航空輸送の役割と倉庫業の役割			
	第5講	物流を管理する	物流コスト管理や在庫管理の伝統的手法			
	第6講	消費者ニーズ始点の物流	小売業者主導型の物流の仕組み			
	第7講	生産活動を支える物流	生産活動を支えるメーカーの物流の仕組み			
	第8講	ネット通販の進展と物流	インターネット通販の歴史と仕組み			
	第9講	宅配便サービスの仕組み	宅配便サービスの歴史と仕組み、ラストマイル輸送			
	第10講	労働力不足問題と物流	物流業界での労働不足の背景と労働不足解消に向けた対策			
	第11講	環境問題と物流	グリーン物流の取り組みや静脈物流の仕組み			
	第12講	災害時対応の物流	リスクマネジメントと事業継続計画(BCP)			
	第13講	経営戦略と物流:事例①	アパレル業界における経営戦略と物流戦略:SPA企業を中心に			
	第14講	経営戦略と物流:事例②	飲食業における経営戦略と物流戦略			
第15講	まとめ	第1講から第14講で学習した事項の整理・復習				
指導方法	毎回、授業中にプリントを配布します。授業はプリントとパワーポイントを併用した講義形式で進めます。講義内で適宜、小テストもしくは小レポートを実施します。					
事前学習	参考書の該当ページに目を通し、未習の用語の意味を確認すること。また、物流関連の用語に慣れるため、新聞やビジネス誌の物流に関する記事を読むこと。1時間程度の学習時間が目安である。					
事後学習	授業中に配布したプリントや授業中に紹介する参考文献をもとに、授業時に学習した事例やその他の事例について復習・学習すること。1時間30分程度の学習時間が目安である。					
成績評価方法	本試験(筆記試験)70%、平常点(小テストおよび小レポート)30%					
テキスト	齊藤実・矢野裕児・林克彦『物流論(第2版)』中央経済社、2020年。					
参考書籍	山本裕、男澤智治(編著)『物流を学ぶ』中央経済社、2020年。山縣宣彦・加藤一誠(編)『「みなと」のインフラ学』成山堂書店。一橋大学商学部経営学部門『経営学概論』税務経理協会、2009年。					
特記事項						